

月刊

みんなのボランティア情報誌

ボラナビ

5月号 No.45
2002年4月25日発行

ご自由にお持ちください



〈今月の表紙イラスト〉
石狩市花川南にお住まいの
豊木伸彦さん

特集

ボランティア体験記●スキー合宿ボランティア

ボラナビの集い●道内NPO団体のIT活用動向

NPO・NGO・ボランティアグループで活動する人のための助成情報

ボランティア体験記

第2回 スキー合宿ボランティア

ニセコのスキー場で毎年、障がいのある子どもを対象にしたスキー合宿が行われています。

主催は「NPO法人ニセコがんば会」。4月の初め、2泊3日で行われたこの合宿に、

ボラナビの集いスタッフでもある大学生の高木大作さんが参加しました。

今回僕が体験したのは、「がんばスキー合宿」のボランティア。参加者は、知的発達障がいのある9歳(小学校4年生)から23歳までの計8名。楽しく素晴らしい体験ができた合宿の様子をお伝えます。

●1日目

4月1日(月)午後1時、地下鉄円山公園駅に集合。2台のバスに便乗して出発だ。子どもたちはちょっと緊張の面持ち。約2時間半でニセコの「ペンションがんば」に到着した。

僕の部屋は男の子3名と同室。荷物整理後、全員で自己紹介をし、ペンション付近の散策に出かけた。外は曇り空だったが、羊蹄山を見下ろす自然の中での散策はとても気持ちが良かった。

ペンションに帰ると、すぐにおいしい夕食。特に「パインのせハンバーグ」は大好評で、ほとんどの子が残すことなく平らげた。食後はいくつかのグループに分かれて入浴、その後は自由時間だ。カラオケをする子(サザンオールスターズの「涙のキッス」を何度も熱唱した小4の女の子は圧巻!)、野球に熱中する子、本を読む子、疲れて横になる子とそれぞれだ。

そうこうしているうちに就寝時間。しかし消灯を過ぎても子どもたちは興奮さめやらず、眠れない様子。まるで修学旅行のようだ。ほらほらもう寝なくちゃ、と僕は一緒に布団に入ってみせた。が、つい熟睡してしまった僕。ボランティアのミーティング時間になって起こされて…お恥ずかしい。トホホ…。ミーティングでは次の日のスキー練習や、ゲームの内容などを打ち合わせた。その後、ワインとおつまみで小宴会。明日のスキー大丈夫かな～と一抹の不安を抱きつつ、今度こそ本当に、就寝。

●2日目

4月2日(火)朝7時起床。子どもたちはスキーが楽しみで、わくわくしている様子だ。着替え、洗面、スキーの準備、朝食を済ませ、ニセコアンヌプリスキー場へ。スキーの指導はマン・ツーマンの形態で、練習というより自由滑走が中心。ほとんどの子がボーゲンで滑走できるので、サポートするボランティア側も一緒にスキーを楽しむことができた。



その上、天気は快晴!珍しいことに羊蹄山には雲一つない。前日の雨で雪質は良くなかったものの、羊蹄山を眺めながらのスキーは最高だった。

が、途中でちょっとしたハプニングが。僕がコースを勘違いして、少々急な斜面に遭遇してしまったのだ。一緒に滑っていた中3の男の子の表情がみるみるこわばり、『怖い、滑れない』。階段歩行で別のコースへ後戻りして、ようやく滑り降りた。ところがもう一度リフトで上まで行くと、その子はなんと『さっきの難しいコースに挑戦してみたい』と言う。一緒に合宿に来ている友達が、そのコースを一生懸命滑り降りているのを見て触発されたようだ。さあ、勇気を出して挑戦だ。スロースピードではあったが、見事に急な斜面を滑りきった。その時



の満足感と充実感に満ちた笑顔!とても印象的だった。一つのハードルを越えたことで、小さな自信を得ることができたのではないだろうか。

こうして無事ケガもなく、楽しいスキー練習を終えることができた。ペンションに帰宅後は、ボランティアさんははくたくたでお昼寝。僕もその一人でありました。

この日の夕食は、運動をした後だけに格別だった。ご飯のおかわりを3回もした子もいたくらい。夜はゲームを企画していたが、子どもたちはさすがにお疲れの様子。昨日とは打って変わって9時半にはみんなあっという間に寝入っていた。僕たちは11時から、反省会と子どもたちへの寄せ書きの作成、そしてご苦労さん会をかねて乾杯。ボランティア間の交流をより一層深めた。



●3日目

4月3日(水)いよいよ最終日。朝食後は、雪山に隠したお菓子を探し出す「宝探し」を実施。そして子どもたちに寄せ書きと写真の授与。みんな嬉しそうだった。札幌に到着したのは、午後3時過ぎ。子どもたちは満面の笑みで、両親のもとへと駆け寄っていた。その様子を見て、この「がんばるスキー合宿」が子どもたちにとって、日常では味わうことができない感動や貴重な体験をする機会であったのだと強く感じた。

合宿を終えて

僕はこれまで、知的発達障がいのある子どもたちや成人を対象にしたボランティア活動に数多く接してきました。特殊学級に通う子どもたちの親で作上げた遊びの会、知的発達に障がいのある人々にスポーツの機会を提供し、ともに楽しむ市民活動など。

そこでいつも感じるのは、障がいがあることで、活動の範囲が狭められてしまっているという事実です。家族で出かけるにも限度があるようです。子どもに障がいのある場合は、学校の長期休暇になると親御さんはどこに連れて行こうか困ってしまうようです。でも子どもたちには少しでも社会体験をしてほしい。新しい何かを発見してほしい。そんな思いを抱くこともしばしばです。

今回の「がんばるスキー合宿」は、知的発達障がいのある参加者が元気良く、のびのびと、楽しく過ごすことのできるものでした。参加者は、新しい仲間との共同生活、ボランティ

アのおじさん・おばさん・お兄さん・お姉さんとの交流、ニセコの豊かな自然とのふれあいなどを通して、数多くの貴重な体験をし思い出を作ることができたのではないかと思います。参加した子どもたちの満面の笑みが、それを物語っているからです。

このような素晴らしい活動に加わることができ、僕自身、大変勉強になりました。「がんばるスキー合宿」は「ペンションがんばる」のオーナー・息子さん・コックさんをはじめ、運転ボランティア、77歳の撮影ボランティア、施設職員の経験を持つボランティア、各大学からの学生ボランティアなど大勢の人の力で運営されています。そのような人々とのふれあいもまた、良い経験でした。年齢の壁を超え、学校の壁を超え、様々な人と出会い・交流できることもボランティアの魅力の一つであるかもしれません。

(高木大作)

道内NPO団体のIT活用動向 — ねっとほ金とアメリカ先行事例の報告を交えて —

●ゲストスピーカー 樽見弘紀さん(北海学園大学助教授)



ユニテッドウェイについて説明する樽見さん



会場風景

3月のボラナビの集いのテーマは「IT」。NPOやボランティア団体でもインターネットの活用が進んできていますが、もっぱら通信手段としてのみの使い方が多いよう。しかし、本当はもっと色々な利用方法があるはず。そこでNPOにとってのIT活用の可能性を、「募金への利用」という切り口から考えてみました。

まず、北海学園大学の樽見先生がアメリカの募金状況を解説。「ユニテッドウェイ」という団体を例にとり、募金方法の変遷をお話くださいました。「ユニテッドウェイ」は、募金を広く集め、様々な市民活動団体へ資金として供給している組織です。以前は、社員の給料から天引きして徴収するという職場単位の募金方法をとっていましたが、「自分の募金が何に使われるのかわからない」という用途不明性が社会的問題となり、1992年を境に方向を転換。原点に立ち返って募金の意味を問い直し、「募金する団体を個人が選べる」

方法へと変えた結果、信用回復に成功したそうです。

こうした動きはまた、アメリカ全体の募金に対する意識にも変化を与えました。そこにちょうど登場したのがインターネットという新しい道具です。インターネットの普及は、変わり始めた市民の募金意識と結びつき、「ネット上で団体の活動内容を調べ、ネットを通じて募金する」という新しいシステムを生み出しました。今ではいくつもの募金サイトが展開されているとのこと。中でもe-Grantsというアメリカ・タイズ財団が運営する募金サイトは、情報量、寄せられる募金額、ともに充実していることで知られています。ボラナビ倶楽部の「ねっとほ金」も、実はこのe-Grantsに触発されて誕生しました。

後半はその「ねっとほ金」についてボラナビ倶楽部から現状を説明。参加者からは「もっと募金を集めるには、こんなところに呼びかけてはどうか?」などのアイデアも飛び出し、活発に意見交換が行われました。

参加者からひとこと

- インターネットと募金の組み合わせはなるほど新しい!と感心した。(大学生・男性)
- インターネットを見ない人や携帯電話も持たない人もいる。そういう一般的なITツールとは縁遠い人たちをどのようにフォローしていくかが今後の課題と感じた。(飲食業・男性)
- 自分が募金したお金がどんな活動に使われるのかわかるのは、とても良いことだと思う。やはりなんでもガラス張りが一番だから。(主婦・女性)
- 自分達のことを自分達で考える人の社会が市民社会。その市民社会にとって「インターネット」という新しい道具は、とても有効なものだとわかった。(会社員・女性)

5月のボラナビの集い

日時◎ **5/21(火) 18:30~20:30**

場所◎北海道環境サポートセンター(北区北7西5札幌千代田ビル1階)

ゲストスピーカー◎「豊平川イカダ下り大会実行委員会」さん

会費◎300円

※11ページをご覧ください。

ボラナビの集い 6月以降の予定

6月 NPO・ボランティア団体の「お悩み」座談会

●日時/6月22日(土) 13:30~15:30

●場所/札幌ビル5階 A会議室(中央区北5条西6丁目)

※参加希望の「お悩み」団体はご連絡ください。



ボラナビ倶楽部によせられたお手紙やお知らせをご紹介します。

みんなの広場

託児ボランティアの募集に大きな反響

村田さん(札幌市西区)

こんにちは。ボラナビ1月号にて、「育児サークルの託児ボランティアさん募集」掲載でお世話になりました、西区の育児サークル「ひよっこクラブ」主宰の村田いずみと申します。

1月号はちょうどクリスマス時期の発行だったので、おそらくすぐには反応はないだろうな、年明けくらいにお電話がきたらいいな、程度に思っていたのですが、掲載日当日からたくさんの方々にご連絡いただきました。ほとんどの皆さんが一度サークルに足を運んで実際の活動を見て下さり、その結果ボランティアに加わっていただけた方は8名。こちらの想像を大きく上回る結果となりました。ちょうど第2子を抱えたメンバーが多いなか、赤ちゃんたちの面倒はもちろん、上の子たちとも積極的に遊んでくださる素敵なボランティアさんと巡りあえて、親子ともにすばらしい経験をさせていただいております。この恩返しは、年末に、少ないサークル費のなかから残った残金と、あとはメンバーたちの感謝の募金を集めて、ねっとほ金にお送りさせていただきたいと思っております。本当にありがとうございました。



ボラナビ倶楽部から

恩返しだなんて…こちらこそ嬉しいお便りに喜んでます。村田さんはもう一つ別のサークルも主宰されていて、現在そちらのボランティア募集もしています。9ページに募集情報が掲載されていますので、そちらもどうぞご覧下さい。

ボラナビを初めて読みました!

かおりさん(札幌市北区)

市内の映画館で月刊ボラナビを見つけ、初めて読みました。ちょうどボランティア活動を考え始めていたときだったので、とても感激しました。

私がボランティアを意識するようになったのは、阪神大震災がきっかけです。ずっと前から『人の役に立ちたい』とは思っていたのですが、震災後、その思いが強くなりました。

今は予備校生なので勉強が忙しく、なかなかボランティア活動に参加することができませんが、大学生になったらドンドンいろんな活動に参加するつもりです。サークルも手話などに入りたいと思っています。高校生の時に仲の良かった友達にも声をかけていて、そのうちに自分達の団体を立ち上げよう、ホームページも開設しよう、と話し合っています。ホームページができればボラナビのことも紹介させて下さいね。そのためにも大学入学目指してがんばります。



ボラナビ倶楽部から

後日、かおりさんからは大学合格のお知らせがありました。おめでとうございます!HPを開設したらぜひ教えて下さいね。ボラナビHPはリンクフリーです。HPをお持ちの皆様、よろしければどうぞリンクして下さいね。

みなさまからのご意見、ご要望、お叱りの言葉など
をお寄せください。お待ちしております。

NPO・NGO・ボランティアグループで 活動する人のための助成情報

(財)大同生命厚生事業団

サラリーマン(ウーマン)ボランティア活動助成

- 応募締切/5月31日(金)
- 募集内容/高齢者福祉、障害者福祉に関するボランティア活動や、子ども(高校生まで)の交流ボランティア活動を行っているか、または行おうとするサラリーマン(ウーマン)の個人もしくはそのグループへ助成します。
- 助成金額/総額600万円以内。1件30万円(最高)
- 助成件数/20件以内
- 応募方法/所定の申請書に所定事項を記入のうえ送付。(Eメールでの提出は不可)申込書はホームページよりプリントしてください。(応募は必ずB4サイズ)
- お申込み・お問合せ/財団法人 大同生命厚生事業団事務局
〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1丁目23-5 大同生命江坂第2ビル内
TEL:06-6330-8452(代) FAX:06-6330-8652
URL:<http://www.daido-life-welfare.or.jp>

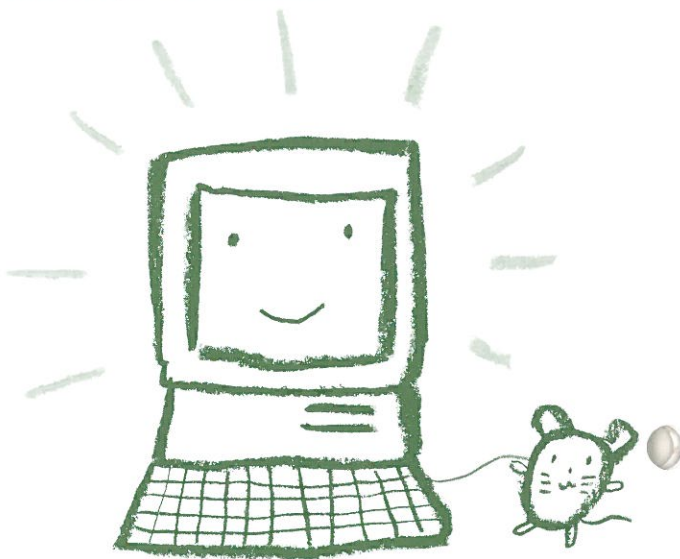
富士フィルム・グリーンファンド

- 応募締切/5月20日(月)
- 募集内容/身近な自然を守るために地域に根付いた活動をしてきた方、あるいは環境保全の研究を実際に進めてきた方で、この助成によって大きな進展が望める活動や研究を助成します。
- 助成金額/総額650万円
- 助成件数/3件程度
- 応募方法/応募要綱をハガキまたはFAXにて請求。その際、住所・氏名・TEL・研究助成/活動助成の別を明記。
- お問合せ/富士フィルム・グリーンファンド
〒110-8676 東京都台東区下谷3-10-10
(財)自然環境研究センター内
TEL:03-5824-0960 FAX:03-5824-0961

(財)電気通信普及財団

電気通信を利用した ボランティア活動に対する援助について

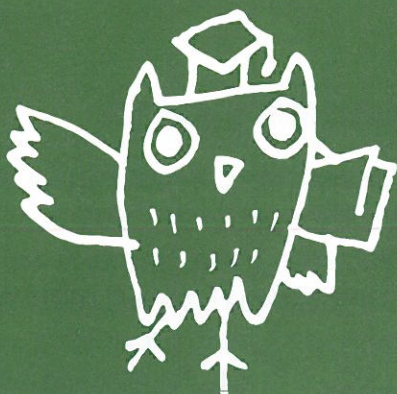
- 応募締切/5月31日(必着)
- 募集内容/福祉分野において無償でボランティア活動をしている団体に対して、パソコンやソフトウェアなど電気通信に関する機器を寄贈。
- 申込方法/申込書をホームページよりダウンロードし、必要事項を記入し郵送。申込書がダウンロードができない場合は、直接財団に郵便で請求。その際、団体の住所宛名を書いた小片の用紙の同封、または、団体の住所宛名を記載したA4版サイズの封筒を同封のこと。
- お申込み・お問合せ/財団法人 電気通信普及財団
〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル5F
TEL:03-3580-3411 FAX:03-3580-3488
URL:<http://www.taf.or.jp/>



私たちの助成申請 vol.3 真駒内川・わんぱく川遊びクラブ

私たちの活動は「真駒内川流域の自然を教室に、川遊びなどを行い、子どもがからだで自然や環境を守る大切さを学ぶ機会を提供すること」'98年に団体を立ち上げたときに、北海道環境財団の「スタートアップ助成」に申請しました。これは新たに活動開始した団体向けの助成金です。交付が決定し、3年間にわたって、助成を受けることができました。おかげで川遊びに必要なライフジャケットなどを整備でき、とても助かりました。ですが、正直言ってこれだけでは運営資金には足りないのも事実。子どもたちの川遊び体験を、ごく安い参加費で継続していくには、もっと助成金が

必要です。しかし、申請書類の作成はとても煩雑なものです。ギリギリの人数で運営している団体にとっては、書類を作るだけでも大変な作業。そのため申請を見送ってしまうこともしばしばです。今のところ事務局の人員費は助成の対象にならないのが普通ですが、これから先は、助成してくれるようにして欲しいですね。そうすれば、人手不足の解消につながり、団体の活動も活性化すると思います。私たちもがんばって活動を続けますが、助成をしてくださる財団や公的機関の意識も少しずつ変化していけば、と願っています。(真駒内川・わんぱく川遊びクラブ:堀 由起)



新聞遅読み

新聞には、NPO、地域、福祉などに関する興味深い情報がいっぱい。古くても「これは多くの人に知らせたいなあ」というような記事を集めています。このコーナーに掲載できるような記事がありましたら、新聞社名と掲載日がわかるようにしてボラナビ倶楽部にFAXしていただけると嬉しいです。

札幌市内のバリアフリー地図完成

公共施設のバリアフリーへの対応を1枚の地図にまとめた「バリアフリーガイドマップ」(B2判)が完成し、区役所、市内の区民センター、郵便局、警察署などで無料配布されている。車いす用のトイレやスロープ、エレベーター、点字案内などがある病院、スポーツ施設、映画館、デパート、ホテルなど約400ヶ所を紹介したマップだ。

中央区のデザイン会社経営者が約4ヶ月かけて作成し、3万部を印刷した。介護用品会社から広告を募り、集まった約100万円が制作費にあてられた。経営者は「車いすイコール障害者のイメージがあるが、高齢化社会になり、誰にも車いす生活の可能性がある。毎年充実させて完べきなものを目指したい」と話す。7月には来年版を作成する予定とのことだ。

(毎日新聞2002年1月28日)

増えるホームレスに健康の目配り

内戦や貧困であえぐ国・地域に医療支援をしてきたNGO(非政府組織)の「国境なき医師団日本」が、国内のホームレス支援を開始。医療を満足に受けられない人が街角にあふれている事情を「無視できない」と、医療スタッフ派遣に乗り出した。看護婦資格をもつ医師団のスタッフが約1年前から加わり路上パトロールを行い、声をかけ、健康相談などを行っている。

ホームレスの数は、昨秋の厚生労働省の集計では全国で2万4千人と、2年前より約3,500人増えた。生活保護法では手持ち金がなくても福祉事務所で認定されれば無料で病院にかかれるが、医師団が昨夏に新宿区内で調査したところ6割の人が具合が悪くても医療機関にかかってなかったという現状だ。

あたたかい声かけや、手厚い対応に「こんなに心配してもらったのは初めて」と涙を流す姿も見られることも。屋外の医療相談会には、毎日約30人がつめかけている。

(朝日新聞2002年2月26日)

リサイクル — 廃油の場合 —

揚げ物や炒め物に使った食用油はどのようにリサイクルされ、役立っているのだろうか。家庭でできる再利用方法としてはせっけん(沸騰させた水に廃油とカセイソーダを入れて作る)が一般的だが、ゴミにならない凝固剤として、プランターや植木の土壌改良剤になるものもある。加熱が不要で固めた油はそぼろ状になり、ごみ減量と地域温暖化ガスの削減に役立つとのこと。

京都市では自動車の燃料として、ごみ収集車や市バスに使用されている。単価が1リットル当たり約80円で、軽油とあまり変わらないうえ、排ガス中の硫黄化合物の量と黒煙が軽油に比べて格段に少なくなるとのこと。現在30都府県で取り組みが広がっている。

国内で消費される食用油は年間約240万トン、このうち45万トンが廃油となる現在、更なるシステム作りが待たれている。

(朝日新聞2002年2月4日)

障害者宅へ本の宅配

図書館へ行くのが大変な身体障害者の自宅に小中学生が希望の本を届ける「宅配ボランティア」が富良野市内で始められている。

図書館から学校までは運送会社が無償で配送、小中学校の小学4年生以上の児童生徒が参加し、2週間に1回のペースで宅配を行う。行政、市民、学校がネットワークを組んで実現させた全国でも珍しい試みで、全国社会福祉協議会からボランティアのモデル事業にも指定された。

市社協は「本を媒体に地域の子供たちと障害者が触れ合ってもらいたい。子供たちにとってもいい経験になると思う」と期待している。利用した方からも「冬はなかなか図書館まで行けないのでありがたい。子供たちが届けてくれるのも嬉しい」と好評だ。

(北海道新聞2002年3月15日)



ボランティア募集

一緒に活動しませんか？

私たち「小樽BBS会」では、いっしょに活動してくれる会員を募集しています。当会は、何らかの原因で非行に陥ってしまった少年、または陥りそうになっている少年と一緒に悩み、相談のりながら明るい方向へ歩みだす手助けをする活動をしています。具体的には、①問題を抱える少年とともだちになり、立ち直りを手助け。②少年たちと地域や施設でのボランティア活動。③児童養護施設（黒松内つくし園）の子どもたちとの交流。④年一回、会員が友達感覚で悩み事に対応する「悩み事電話相談・ともだち電話」などを行っています。このような活動を一緒にやってくださる小樽在住で18～35才（高校生不可）くらいまでの方をお待ちしています。興味のある方は、ご連絡ください。

●場所／小樽市青少年センター

小樽市花園4丁目21-1（花園公園通り沿い）

●連絡先／TEL:0134-22-5904〈青少年センター〉

PHS:070-5602-7249〈斎藤友貴彦〉

Eメール:otaru_bbs@hotmail.com

子どもたちと遊んでもらえますか？

小学生の保育所「ネバーランド」では、放課後、小学生と一緒に遊んで下さる方や、通所・帰宅の際の、送り迎えの同伴をして下さる方を募集しています。根気と体力のある方ならどなたでもOK!保育士・教員を目指す方には、きっと役に立つ経験が得られますよ。是非ご連絡下さい。常時募集しています。

●日時／15:00～17:30（月～金）、8:30～15:00（土）

日祭日はお休み。（学校の振替休業日などは8:30から保育をしています）いずれも月～土曜日で都合の良い時間をご相談の上。

●場所／小学生の保育所「ネバーランド」

札幌市厚別区大谷地東5丁目

●交通機関／地下鉄東西線「大谷地駅」下車徒歩3分

●お問合せ／「ネバーランド」

TEL・FAX:011-894-9021（留守電あり）

Eメール:neverland_mirai@hotmail.com

科学に興味ある指導者募集

（財）日本宇宙少年団札幌分団では、子どもたちを指導してくれる、宇宙または科学に興味のあるリーダーを募集しています。宇宙少年団では、子供たちに宇宙・科学に興味を持ってもらおうと、団員に対して月1回程度、活動をしています。最近の例ですと、卓上プラネタリウムの作成、コマ回しの実験、夏のキャンプなど、幅広く活動を行っています。団員は、小学生～高校生で構成され、札幌の他にも各地に分団があり、それぞれ独自の活動をしています。費用などは実費を除いてかかりません。現在学生、社会人のリーダーで楽しく活動を作り上げていっています。やる気があればどんな方でもOKですのでご連絡ください。

●活動日／月一回、プロジェクトの準備のため、事前に二回ほどリーダー会議を行っています。主に土日の昼間、都合の合う日に行います。

●活動の拠点／日本宇宙少年団札幌分団事務所

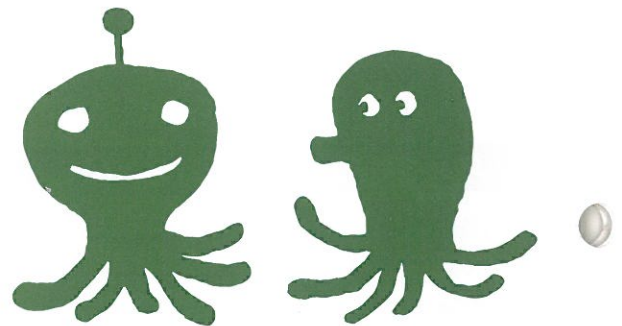
札幌市西区八軒1条東4丁目

●交通機関／札幌駅から市営バス（西52）、地下鉄東西線「二十四軒駅」または、地下鉄南北線「北24条駅」から市営バス（西32）いずれも「八軒1条東4丁目」下車徒歩2分

●連絡先／TEL:090-7645-9043〈担当:リーダー 樋山〉

Eメール:hi-yan@yac-sapporo.taishin.ne.jp

※日本宇宙少年団札幌分団事務所はTEL011-613-6011ですが、普段は留守番電話になっていますので、樋山まで、ご連絡ください。



たわけたいち日
今日も朝から大騒ぎ
モーツァルトの大傑作

「フィガロの結婚」

日本語上演
岩河智子・訳詞/編曲
中津邦仁・演出
札幌室内歌劇場総出演

スザンナを狙う伯爵、伯爵を想う夫人、夫人を慕うケルビーノ、ケルビーノに恋するバルバリーナ、バルバリーナの親に追いつめられるフィガロ、フィガロに金を貸したマルチェリーナ、マルチェリーナの陰の恋人バルトロ、...この大混乱！出口はどこだあ！

子どもも大人も、男も女も、オペラ通も芝居通も、見なけりゃ始まらない札幌室内歌劇場のオペラ、歌劇、歌芝居。これがオペラか?? これこそオペラというものだ!!
主催:札幌室内歌劇場@特定非営利活動法人

9月18日(水) 18:30～ 会場:札幌サンプラザホール(北24西5)
19日(木) 16:00～ 入場料:一般6,000円、学生5,000円
20日(金) 18:30～ ★5枚お求めの方に、1枚ご招待券贈呈

ご予約・お問い合わせは、オフィス・ワン 612-8696 へ!



ボランティア募集

アルミ缶を集めています

私たち「ひまわり共同作業所」の仲間達は、精神障害回復者として1日も早く社会復帰しようと日々努力をしています。しかし、現在の不況下では一般社会への就職もできず、下請け作業も少なく、社会復帰は思うように進んでいません。そんな中、力を入れているのがアルミ缶回収です。みなさんが資源ごみとして処理しているアルミ缶を回収させていただけないでしょうか？よろしく願い致します。尚、回収に何うことができませんので、アルミ缶がたまりましたら、お手数ですが「ひまわり共同作業所」(下記住所)までお持ち頂けると助かります。

●連絡先／ひまわり共同作業所 札幌市豊平区美園6条8丁目1-18
TEL・FAX:011-813-5999

泊まりの介助者(有償)募集

泊まり込みで介助してくれる方を募集しています。力のある男性の方で、経験は問いません。介助のやり方はお教えます。1回の時間が、21:00から翌朝の9時までで5,500円、1時間延長ごとに700円をお支払いします。交通費もお支払いします。(札幌在住の方限定)

- 場所／札幌市東区北30条東19丁目5-11 ソレイユ29-101
- 交通機関／地下鉄東豊線「新道東駅」下車徒歩10分
- 連絡先／〈坂内洋士〉
TEL:011-783-6444 Eメール:banchan@be.wakwak.com

不登校の子の話し相手

「海の会」では、不登校の子どもたちを定期的に訪ね、話し相手や遊び相手になる活動を続けています。私たちと一緒に、子どもたちの家を訪問したり絵ハガキを送る活動をしてくださる方を募集しています。

- 活動場所／札幌市内および小樽市内
- 連絡先／海の会 小樽市潮見台1-6-19
TEL・FAX:0134-32-7347(担当:鈴木)

知的ハンディのある方々との交流!

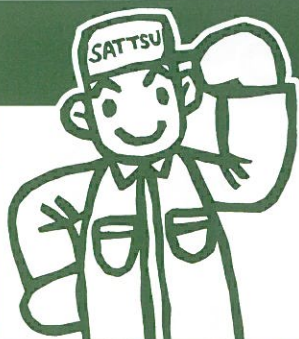
社会福祉法人草の実会では、知的なハンディをもつ方々が日中に通ってきて、下請けや木工、手芸、紙すきなどの作業をしています。知的なハンディをもつ方々と一緒にお話しをしながら作業をしたり、一緒に散歩をしたり、カラオケに行ったりと話し相手や友達になってくれる方、また木工や手芸の下準備や仕上げ(自宅での作業も可)を手伝ってくれる方、畑作業に詳しい方などを募集しています。また、土曜日のお菓子サークルにお手伝いいただける方も募集しています。活動場所は、平岸、美園、盤溪、中央区と4カ所あり、ボランティアさんの都合のいい場所であることが可能です。興味のある方、見学だけでも構いませんので、お気軽にお電話ください。お待ちしております。

●日時／月～金の9:30頃～15:30頃(都合のつく曜日、時間で構いません)
お菓子サークルのお手伝いは、第3土曜日の9時頃から昼頃まで。

●場所／

- ①草の実平岸の里 札幌市豊平区平岸4条17丁目6-6
地下鉄南北線「南平岸駅」下車徒歩10分
- ②便利屋くれよん 札幌市豊平区美園12条6丁目4-1
地下鉄南北線「平岸駅」から徒歩20分、または中央バス(白30・平78)「美園駅」下車徒歩10分、地下鉄東豊線「美園駅」下車徒歩10分
- ③草の実工房もく 札幌市中央区盤溪216-1
地下鉄東西線「円山公園駅」から盤溪バス「盤溪スキー場」下車徒歩15分
- ④リトルローズ 札幌市中央区南14条西12丁目2-22
市電「西線14条」下車徒歩5分、「西11丁目駅」などから市営バス(南4・南54・南64)、札幌駅などからじょうてつバス(7・8・南55)いずれも「南14西11」下車徒歩5分

●連絡先／社会福祉法人草の実会「草の実平岸の里」ボランティア係 TEL:011-817-9080(担当:山本)



引越し・旅行・車検は、まず札幌にお電話ください!

- 引越し…見積もり無料。
- 旅行…JTB、北海道ツアーシステムなどの大手国内外旅行も、同金額、同サービスで取り扱っています。
- 車検と保険も取り扱っています。

お問い合わせ・お申し込みは (担当:佐藤)
札幌「はこび愛ネット」推進事務局
札幌市中央区北5条西6丁目2 札幌ビル2階

札幌通運では、引越し・旅行・車検のサービスをしています。ご利用の際、「ボラナビに還元して」とおっしゃっていただければ、売上の一部をボラナビ倶楽部に還元します。お客様のお支払いが、その分、高くなるということは決してありません。広告費を抑えています。一般のお客様と同様のサービスをご利用ください。

(011)251-4120 FAX (011)251-3315
URL <http://www.satsu.co.jp>



ボランティア募集

小規模作業所の利用者

この度、新しく開設した、あがべ福祉作業所リサイクルショップ「ばん」では、一緒に作業をする仲間を募集しています。当作業所は、知的・軽身体障がいがあり、リストラや何らかの理由で、家庭内での在宅を余儀なくされている方を対象にしています。特に心のケア、生活支援、就労支援をメインに活動しています。リサイクル品販売の接客、物作りの作業を通じ、一緒に心を豊かにしませんか？

- 作業時間／10:00～16:00(月～金)
- 場所／あがべ福祉作業所・リサイクルショップ「ばん」
札幌市北区新川4条11丁目4-23 富士荘2F
- 交通機関／地下鉄南北線「北24条駅」から市営バス(北73)「新琴似2条10」、または地下鉄東西線「琴似駅」から市営バス(西48)「新川高校前」下車、(西49)「新琴似2条10」下車、いずれも徒歩5分
- お問合せ／TEL・FAX:011-764-7001(担当:庄子)

自宅介護のボランティア

筋ジストロフィーの女性(49才)で、車イス生活をしています。ムチうちや肩こり、一日中続くしゃっくりと闘っています。眠っている間も足がだるくなるので、タワシや手で足をたたいたり、飲み物を用意して下さる方を探しています。夜間の時間帯は、用事がある時に呼んでお願いします。控え室を設けていますので、そこで休んだり、本を読んだり自由にして下さって構いません。年齢・性別不問です。どうぞよろしくをお願いします。

- 日時／毎日 18:00または19:00～翌朝9:00
(昼間のボランティアも募集しています。)
- 場所／自宅 札幌市厚別区厚別中央1条4丁目
- 交通機関／JR、地下鉄東西線「新札幌駅」下車徒歩10分
- 連絡先／TEL 011-893-5342(古海)
- 備考／交通費込みで3,000円お支払いさせていただきます。

こども英語サークルの託児

西区のこども英語サークル「Yeah!Go!」では、主に2歳半前後の子ども達と赤ちゃんの面倒をみてくださる方を大募集しています。当サークルは、2歳半くらいの子もたちを中心に、英語をつかって遊び、慣れていくための母子のサークルです。「お金はかけずに、いろいろ言葉の発達めざましいこの時期の子どもたちに英語で遊べる機会をつくろう」という趣旨のもと、賛同してくださったニュージーランドの英語の先生が、毎回レッスンしてくれます。下の子を連れて参加される方から、赤ちゃんのお世話をしてくれる方が欲しいとの要望がありました。また、このサークル終了後、先生に「ワンポイント英会話」を教えていただく時間があり、参加するお母さんのお子さんを見てくださると、大変助かります。かなりアットホームな雰囲気です。このサークルに興味を持ってくださって、小さいお孫さんのいらっしゃる方や子育て経験のある方、こども好きの方、お待ちしております！

- 日時／子ども英語サークル 14:00～
ママワンポイント英会話 15:00～15:30
いずれも月曜日(毎月3回)月1回からOK!
- 場所／「ちえりあ」札幌市生涯学習総合センター1F 遊びの森
札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10(変更の場合あり)
- 交通機関／地下鉄東西線「宮の沢駅」直結徒歩5分
- 連絡先／FAX:011-621-9674(担当:村田)
- 備考／交通費はなるべくお支払いする方向で検討中です。
(近くの方歓迎!)ボランティア保険は当方で加入。



いきいき福祉・介護フェア2002

入場無料

5月17日(金)～5月19日(日)

時間 10:00～17:00 会場 アクセスサッポロ
最終日は16:00まで 札幌市白石区流通センター4丁目3-55

期間中、大谷地バスターミナルより無料臨時バス(ノンステップバス)運行!

もっと豊かに、快適に。暮らしに役立つ・介護情報が満載!

- 福祉関連企業全80社出展 ●最新の福祉機器・介護用品の展示 ●介護相談コーナー
- ASIMO(アシモ)いきいきライブ ●ワーキングドックふれあい教室
- 各種体験講座・セミナー ●いきいきスポーツ広場 他

みんなの力で
車いすを
贈ろう!

リングプル回収に
ご協力ください。

アルミのリングプルが690kg集まると、
車いす1台を福祉施設に寄贈できます。
※スチール製は不可



創刊60周年

北海道新聞

[主催] いきいき福祉・介護フェア2002実行委員会

主催構成団体:北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道社会福祉協議会、札幌市社会福祉協議会、札幌商工会議所、(財)札幌産業流通振興協会、北海道新聞社



ボランティア募集

フリースクールでの活動

高校中退や不登校の小・中学生などが通うフリースクール札幌自由が丘学園では、教科学習援助などしながら生徒とともに過ごしてくれる方を募集します。中学校程度の学習指導ができる、大学生以上の方を希望します。

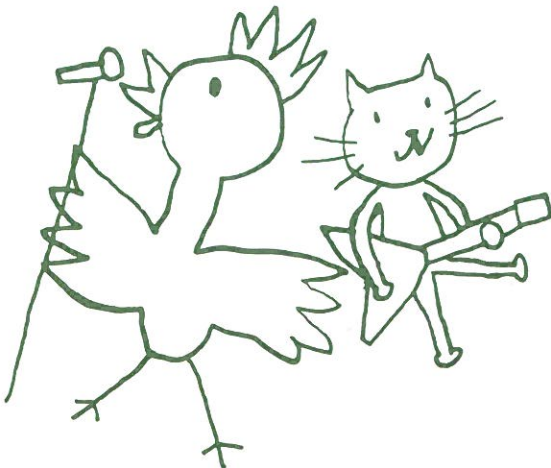
- 活動日時/月～金 10:00～15:00の中で週1回程度から(毎週定期的な活動ができるようになれば交通費程度は払います)
- 場所/札幌自由が丘学園 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5
- 交通機関/地下鉄東豊線「福住駅」下車徒歩7分
- 説明会/5月11日(土)13:00から詳しい内容について説明会を行いますので、事前にお申し込みの上、ご参加ください。
- 連絡先/TEL:011-858-1711(担当:芳賀・新藤)

Eメール:info@sapporo-jg.com

音楽クラブでの活動!

知的障害者の通所更生施設「北の沢デイセンター」では、毎週水曜日に活動している音楽クラブと一緒に楽しみながらサポートしていただける方を募集しています。音楽クラブは約20名の利用者が歌や踊り、楽器演奏などを中心に活動しています。また、隔週で音楽セラピストの方にも来ていただいて毎回バラエティに富んだ楽しい活動をしています。音楽が好きな方、音楽療法に興味のある方ならどなたでもかまいません。是非、私たちと一緒に楽しみましょう!!

- 日時/毎週水曜日 13:30～15:30(11月～3月は15:00まで)
- 場所/北の沢デイセンター 札幌市南区北の沢1904番地2
- 交通機関/地下鉄南北線「真駒内駅」から市営バス(南97)「北の沢会館前」下車徒歩10分
- 連絡先/社会福祉法人札幌この実会 北の沢デイセンター TEL:011-572-2522 FAX:011-572-6320(担当:山本・笹森)
- Eメール:kita2522@netfarm.ne.jp
- 備考/恐れ入りますが、交通費は実費(個人負担)でお願いします。



デイサービススタッフ大募集!!

デイサービスセンター「ゆかい」では、家庭的な雰囲気のもと、様々な室内レクリエーションや外出行事を行っています。そこで、共に明るく、ゆかいに活動へのお手伝いをして下さるスタッフを募集しています。空いている時間で構いませんので、ご協力をお願い致します。

- 日時/月曜日～金曜日 9:00～15:30
- 場所/デイサービスセンター「ゆかい」札幌市厚別区厚別南2丁目17-14
- 交通機関/地下鉄東西線「ひばりが丘駅」下車徒歩10分
- 連絡先/TEL・FAX:011-891-4966(担当:佐藤)

ホームヘルプ&ガイドヘルプ(有償)

拓北・あいの里地区しょうがい者地域生活支援センター「キーツ」では、しょうがいのある方とその家族の方に、ホームヘルプ・ガイドヘルプ・移送サービスなど、必要なサポートを必要な分だけ支援する個人サービス(パーソナルアシスタントサービス)をお手伝いしてくれる方の募集をしています。年齢・性別・資格・活動可能な時間帯などは問いません。一緒によりよいサービスを創造しませんか?

- 日時/ご都合のよい日時
- 場所/札幌市北区あいの里1条6丁目2-2
- 交通機関/JR学園都市線「あいの里教育大駅」、または地下鉄東豊線「環状通東駅」から市営バス(東69)「あいの里1条6」下車徒歩2分
- 連絡先/しょうがい者地域生活支援センター「キーツ」 TEL:011-770-5802(24時間受付)(担当:今村)
- Eメール:flashmamu@livedoor.com

ボランティア豆知識

フリースクールとは?

子どもの自由と自主性を第一に考えて運営するもうひとつの学校。生活様式の変化と教育問題が深刻化する中で、フリースクールやフリースペースへの関心が高まっている。

介護タクシーとは?

ホームヘルパー資格を持ったタクシードライバーが乗務するタクシー。お年寄りや高齢者の病院への送迎や身の回りの世話をす。法的解釈が定まっていないが現在は介護保険が適用する。

ワンステップバスとは?

乗降口に段差のないバス。車体を傾けたり、スロープを出せる。座席数が少ないのが難点。その解決策として車イスでも乗れるワンステップバスもある。



ボランティア募集

障害児のキャンプスタッフ募集

8/10・11

障害児のアドベンチャースクール「いけまぜ夏フェス02」のボランティアを募集します。一泊二日のキャンプです。「食べるのたのしいよ」「動くのたのしいよ」「話すのたのしいよ」etc...障害児が楽しみながら参加できるイベントを中心に、障害があるものもないものも、ごちゃまぜで楽しい「いけまぜ」の世界です。事前に集会をする予定です。また、メ切りは5月末の予定です。詳しくはお問い合わせください。

- 日時／2002年8月10日(土)・11日(日)
- 場所／札幌市福移小中学校・札幌市中沼キャンプ場
- 参加費／2,000円程度の予定。
- お問合せ・連絡先／NPO法人「にわとりクラブ」
いけまぜ夏フェス02実行委員会事務局
TEL・FAX:011-642-2394(担当:高山)
Eメール:satomi-takayama@mvg.biglobe.ne.jp
※郵送の場合
〒063-0864 札幌市西区八軒4条東1丁目2番10号
医療法人エルム歯科医院内

募金のお手伝い

5/5

私たちパンダクラブ北海道は、WWFJ(世界自然保護基金日本委員会)のメンバーで作られたボランティア団体です。恒例のパンダ募金のボランティアを募集します。今回も人数さえ集まれば、円山動物園正門と西門の2班に分かれて募金を呼びかけます。駐車場は朝早く満車になるので、徒歩かバスで参加してください。小雨決行ですが、大雨が降った場合は翌6日に実施します。その日も、大雨等の場合は中止となります。

- 日時／5月5日(こどもの日) 10:00~15:00
- 集合場所／札幌市円山動物園正門前
- 交通機関／地下鉄東西線「円山公園駅」下車徒歩15分、または市営バス(西15)「動物園前」下車すぐ
※5日は、700円で市営交通が乗り放題のエコキップが利用できます。
- 募金目的／募金は世界の自然保護活動に役立てるためWWFJに送金します。参加希望者は、メールにてご連絡ください。
- 連絡先／Eメール:nagaya@shi.whitecity.ne.jp(担当:長屋)

「豊平川イカダ下り大会」実行委員スタッフ募集!

~7/14

「豊平川イカダ下り大会」は、多くの人達の夢とパワーに支えられ、今年で28回目を迎えます。この大会の開催までをお手伝いしてくれる方を募集しております。活動内容は、大会参加者の募集活動や大会説明会の準備、大会前に川の状態を確認すること、スタッフ自らイカダを製作し川を下ってみることなど、大会が終了するまで一緒に活動でき、やる気のある方、是非ご連絡下さい。ボランティア初心者の方もお待ちしております。大会の迫力、終了後の満足感は素晴らしいものです。川岸から豊平川を眺めるばかりでなく、実際に川に触れて、自然の中で遊ぶ面白さを一緒に体験しましょう!

- 活動日時／毎週木曜日 19:00~21:00(時間自由)
- 活動場所／中央区民センター 札幌市中央区南2条西10丁目
- 交通機関／地下鉄東西線「西11丁目駅」下車徒歩5分、または、市電、市営バス(南4・53・54・64)、いずれも「中央区役所前」下車徒歩2分
- 募集対象／18歳以上
- 申込締切／6月末日
- 連絡先／中央区役所 地域振興課地域活動係
TEL:011-231-2400(担当:西山)
豊平川イカダ下りを愛する会
PHS:070-5605-1687(担当:会長 上嶋)
Eメール:ikada@bug.co.jp

YOSAKOI会場運営スタッフ大募集!

6/22-23

「道庁赤れんが会場」に6月22日(土)・23日(日)の両日、全国から約60チームの踊り子さんが集まります。今年も、市民有志が実行委員会を立ち上げ、会場の運営にあたります。皆さんも一緒に、温かい手作りの会場をつくりあげませんか?どちらか1日だけでもお手伝いに来ていただける方は、下記の連絡先にAXまたはEメールでご連絡をお願いします。

- 役割／本部・受付・救護・チーム誘導・会場警備など
- 連絡先／FAX:011-261-2770(担当:真屋幹雄)
Eメール:mmaya@sea.plala.or.jp

ほっとニュース

反響広がる「給料の端数を募金」

富士ゼロックス株式会社には、社員の発案で始まった『端数倶楽部』という社会貢献プログラムがあります。お給料やボーナスの下2桁(つまり100円未満)を天引きし市民活動団体に寄付するというもので、参加は自由。現在4,000名が参加しているそうです。この方式を今、道内のある市役所が導入しようと動いています。すごい行政の柔軟な姿勢に感動です。

使用済みテレカを寄付するなら

- 札幌いちご会
札幌市中央区北9条西24丁目3-21 ビューハイムかどや1F TEL:011-623-1523
- 自立生活センターさっぽろ
札幌市白石区南郷通14丁目南2-2 ニュー南郷サンハイツ1F TEL:011-867-5699
(書き損じた年賀状やハガキ、未使用切手、商品券、未換金宝くじも集めています)
※どちらも障害者の自立生活を支援する団体です。



イベント情報

メグさんの性教育を学ぼう

5/2

「赤ちゃんはどこからやってくるの?」このような質問に、あなたはどのように応えますか?わたしたちが赤ちゃんをつくる方法に恥ずかしい点はありません。自分の身体について学ぶことも恥ずかしいことではありません。カナダ出身の看護婦、メグ・ヒックリングさんによる性教育講話。ユーモアとウイットに富んだ内容で、性に対する古い価値感を払拭してくれます。今回が、メグさんから直接学ぶ最後の機会となりました。是非、ご参加下さい。

- 日時/5月2日(木) 18:30~20:30(受付は18:00から)
- 場所/かでの2・7 大会議室(4F) 札幌市中央区北2条西7丁目
- 交通機関/JR、地下鉄南北線・東豊線「札幌駅」下車徒歩10分
- 参加費/1,000円
- お問合せ・お申込み/エンパワメント・オフィス・MIL
TEL・FAX:011-721-7834(担当:小野寺)
Eメール:off.mil@fine.ocn.ne.jp

第10回親業ほっと講演会

5/31

日常生活の中で相手と心を通わせ、人間関係を築くコミュニケーションの方法を、小さな劇をしながら紹介します。私たちは、普段の何気ないことばで、相手の心を傷つけているかもしれません。この機会に、ご自身のコミュニケーションを見なおしてみませんか?中学生と親、夫と妻、姑と嫁、生徒と先生、患者と看護婦、上司と部下の関係などいろいろなパターンを紹介します。多くの方のご参加をお待ちしております

- テーマ/いま・ここで心を伝えるために
～「親業」から学ぶコミュニケーション～
- 日時/5月31日(金) 10:00~11:30
- 場所/札幌市女性センター 第2研修室
札幌市中央区大通西19丁目
- 交通機関/地下鉄東西線「西18丁目駅」下車(出口1番)徒歩1分
- 参加費/1,000円
- 主催/親業ほっと
- お問合せ/TEL:011-820-4415(担当:青柳)
TEL:011-375-2751(担当:藤田)

シスター・プレジャン来日札幌講演会

5/26

5月16日から30日まで、死刑廃止を訴えているアメリカのシスター・ヘレン・プレジャン氏とシスター・マリア・グラスウォール氏が来日され、スピーキングツアーとして全国を回られます。それぞれ、各地での様々な講演会や交流会を通じて、被害者遺族の苦しみと同時に死刑の廃止、人権の尊重などを訴えていき、札幌でも5月26日に講演会を行います。また、主催の「アムネスティ28グループ」では、ボランティアも同時に募集しています。内容は、月に1度例会に参加して、良心の囚人の釈放を求める手紙を書くことが基本で、そのほかに、講演会、映画会、手紙を書く夕べなどを企画実行することです。

- タイトル/デッドマン・ウォーキング NO MORE!
- 内容/三津橋彬「太田死刑囚のこと」
マリア・グラスウォール「共に生きることを求めて」(仮題)
ヘレン・プレジャン「いのちの大切さと死刑制度」(仮題)
- 日時/2002年5月26日(日) 15:00~18:00
- 場所/「ちえりあ」札幌市生涯学習総合センター 6F 講堂
札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10 TEL:011-671-2210
- 交通機関/地下鉄東西線「宮の沢駅」下車、地下道直結徒歩5分 ※駐車場、西友駐車場と共用(2時間まで無料)
- 入場料/1,000円(前売り800円)高校生以下無料
- 交流会/会場にて18:30~20:00まで。
要予約(会費1,000円、サンドイッチなど軽食付)
- チケット取扱/各プレイガイド、北大生協。高見まで直接申し込まれた場合は、チケットを取り置きし、当日会場で受け渡します。
- 連絡先/アムネスティ札幌28グループ
TEL・FAX:011-622-5453(担当:高見)
Eメール:simafukurou@geocities.co.jp

DEADMAN WALKING
NO MORE!



事務局日誌 3月

- 1日(金) 広告掲載の依頼に走る。本日の訪問は3社。
- 7日(木) 森田、東京へNPOの視察&講演に出発。
- 8日(金) 新事務所の電話工事。このあたりから引越し準備本格化。走り回って大忙し!
- 10日(日) 松本&ボランティアスタッフ加藤、新事務所にパソコン設定しておこうと休日返上。が、入れず、喫茶店で紙面での打ち合わせ。
- 13日(水) 新事務所にFAX設置。明日の引越しに備えて汗をかきかき荷造りにはげむ。
- 14日(木) ついに引越し。机やイス、ロッカーは新事務所の札幌ビルさんが用意してくださって大感激。スペースは広いし立地は良いし、うれしさが溢る。
- 18日(月) 新スタッフの面接。事務局へ来客者がポツポツ来だす。
- 20日(水) ボラナビの集い。今回もニュートリケアさんが手作りお菓子を提供してくれた。おいしいようかんは大好評。札幌さんからソファのプレゼント。皆さんありがとうございます!
- 23日(土) 森田、北区まちづくりコンテスト審査会に出席。
- 25日(月) ボラナビ4月号配布。リニューアルしたボラナビ、どんな感想が寄せられるかこれからが楽しみ。新スタッフ村上、初出勤。よろしく願います。森田、旭川で講演。旭川NPOサポートセンター訪問。
- 27日(水) 会社の社長さんなど6人の集まりでボラナビのことをプレゼンテーション。
- 29日(金) 藤山、ボラナビを卒業。本業(フリーライター)での活躍を期待!! たまには遊びに来てね。



イベント情報

ニセコ町まちづくりに学ぶ市民参加 5/18

『市民参加を考える会』は、行政のパートナーシップの呼びかけに対して、どのように「市民参加」をするのが良いか、その仕組みを求めてワークショップや問題分析を行ってきました。この度、第2回目の公開学習会を開催します。福祉・環境・教育などの幅広い分野の皆さんと自由・闊達な議論を深めたいと思います。関心のある方、ぜひ参加して、ご意見を聴かせてください。

- テーマ／「ニセコ町まちづくり基本条例」に関して市民参加を考える
- 参加ゲスト／片山健也(ニセコ町企画環境課課長)

佐藤克廣(北海学園大学法学部教授)

- 日時／5月18日(土) 13:00~18:00
- 場所／札幌市社会福祉総合センター4F・視聴覚会議室
札幌市中央区大通西19丁目
- 交通機関／地下鉄東西線「西18丁目駅」下車(出口1番)徒歩1分
- 参加費／無料(事前申し込みをお願いします)
- 主催／「市民参加を考える会」
- 後援／札幌市、札幌市ヴォランティア連絡協議会、札幌どまんなか未来懇、あすの札幌を考える会
- 連絡先／FAX:011-723-5011

Eメール: Saruvodaya@m2.people.or.jp



求人情報

在宅ホームヘルパー・運転手募集

〈在宅ホームヘルパー〉

- 募集事業所
「ホームヘルパーノア」「たすけあいいずみ」
- 資格
訪問介護員2級以上の資格取得者。
運転免許保持者尚可。未経験者大歓迎。
「ホームヘルパーノア」は清田区北野・白石区・厚別区在住の方。
「たすけあいいずみ」は北区・中央区在住の方。
- 勤務日
「ホームヘルパーノア」:週3日以上(曜日は応相談)
「たすけあいいずみ」:応相談
- 給与
両事業所とも:時給900円+交通費別途支給
(法人規定による上限あり)

〈送迎運転手〉

- 募集事業所
「ホームヘルパーノア」
- 資格
要普免。自家用車持ち込み可能な方。
清田区北野・白石区・厚別区在住の方。
- 勤務日
週3日(曜日は応相談)
- 給与
回数給(送迎の回数に応じて給与が異なります)※標準月収5~6万円
- 応募方法
希望職種を明記した履歴書を各事業所までご郵送ください。
書類選考の上、ご連絡いたします。

■応募宛先

NPO法人「ホームヘルパーノア」〒004-0021 札幌市厚別区青葉町8丁目1-17
NPO法人「たすけあいいずみ」〒001-0013 札幌市北区北13条西3丁目13-802

ボラナビの主な配布先

ボラナビは毎月25日に発行し、各所で無料配布しています。
(問い合わせの多い大通り、札幌駅近辺のいくつかには住所も書いています。)

札幌市内と近郊の大学・専門学校

大谷短期大学
小樽商科大学
札幌医科大学
札幌学院大学〈江別BBS〉
札幌国際大学
札幌大学
東海大学
藤女子大学
北海道文教短期大学
北星学園大学
北海学園大学
北海道浅井学園大学
北海道医療大学
北海道大学
武蔵女子短期大学
酪農学園大学
札幌福祉専門学校
北海道芸術デザイン専門学校
北海道医薬専門学校

スーパー

北雄ラッキー〈市内全店〉
スーパーJOY〈市内全店〉
札幌東急ストア〈市内全店〉
ディナーベル〈市内全店〉
ホクレンショップ・ホクレンディスカ
ウントショップ〈市内全店〉
コープさっぽろ〈市内全店〉
SEIYU〈市内全店〉
ポスフル〈市内全店〉
ラルズ系スーパー〈市内全店〉
マックスバリューストア〈市内全店〉
札幌フードセンター
〈篠路、北、新道、元町、カスタム(東
苗穂)、菊水、森林公園、月寒中央、
豊平、琴似、澄川の各店〉

書店

文教堂〈市内全店〉
紀伊国屋書店
〈ロフト店を除く市内全店と小樽店〉
くすみ書房
ダイヤ書房(新道店、発寒店)
ビグオブックセンター(南2西4ビグオ6階)

レンタルビデオ店

TSUTAYA〈光星店、宮の森店〉

CD店

VIRGIN MEGA STORE
〈南1西3 ラ・ガレリア地下1F〉

映画館

札幌劇場
シアターキノ
松竹
SY遊楽
東宝公楽
東映劇場

銀行

札幌信用金庫
北海道銀行
ろうきん

飲食店

可否茶館〈市内全店〉
サンローゼ
サッポロ珈琲館

その他

朝日カルチャーセンター〈北2西1〉
道新文化センター〈大通り西3〉
さっぽろ村コミュニティ工房
〈北17東15〉
JR琴似駅
JR新札幌駅
北海道環境サポートセンター
〈北7西5〉
北海道電力(株)〈市内全営業窓口〉

市内公的施設

70力所
(区役所、図書館、地区センター、市
民活動プラザなどに配布をお願いし
ています。)

定期購読のご案内

各号1部(6か月間)……………1,500円

複数部数を希望される場合は、ボラナビ倶楽部まで
お問い合わせください。(※札幌市外は6部まで)

●お申し込み方法

お名前、ご住所、FAX番号(または電話番号)かE-mailアドレス
をボラナビ倶楽部にお知らせください。

※この金額は印刷、郵送料には足りていません。定期購読のお申し込
みをされる場合(特に企業でお申し込みの場合)は、協賛をご検討く
ださいようお願いいたします。協賛については裏面をご覧ください。

ボラナビ倶楽部が 札幌ビルに引っ越しました。

月刊ボラナビもサイズが大きくなって
内容もパワーアップ。見やすく、楽しく、
みなさんの情報を掲載していきます。
今後ともよろしく願いいたします。

新住所、電話・FAX番号

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目2 札幌ビル3F

TEL 011-242-2042 FAX 011-242-2043

※E-mailアドレス・ホームページアドレスは今まで通りです。

表紙イラストの募集について

「ボラナビ」の表紙は、読者から寄せられた「人の心を明るく、暖かく、元
気にするイラスト」を紹介していきます。本誌の表紙を自分の作品で飾っ
てみようという方は、イラストをハガキまたはA4判以内の紙に描き奮っ
てお送りください。絵の題材表現手法は自由です。線画でもかまいません。
ただし、毎月の本誌の顔となる主要なビジュアルであることから、そ
の取扱いはボラナビ倶楽部に一任させていただきます。

なお作品の基本的な権利(著作権)はあくまで作者に属するものとして取扱
います。ボラナビ倶楽部は本誌の表紙用にお借りして使わせていただ
くだけです。また、応募が多数に上った場合は、ご紹介できない場合もご
ざいますので、その際はご容赦ください。

●お問い合わせ・お送り先は

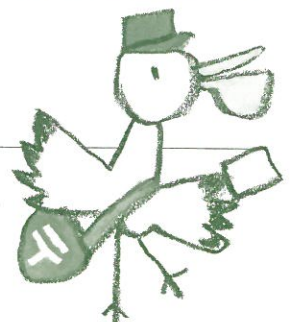
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目2 札幌ビル3F
TEL 011-242-2042 FAX 011-242-2043
E-mail volunavi@npohokkaido.jp

情報提供のお願い

ボランティア募集やイベント情報をお待ちしています。主旨と内容、
日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、郵送・FAXまたはE-
mailでお送りください(E-mailだとうれい!)。掲載料は無料です。
7月号に掲載を希望される場合は、**5月25日必着でお送りください**。
お便りなどもお待ちしております。

編集後記

リニューアル後の反響に嬉しい悲鳴!事務所の
移転とも重なり、各方面の方々のお世話に。デザ
インや文書の専門家は編集に活かせるけど、唄
いやの私にはさっぱり。「出前ライブします!」なん
て掲載依頼出してみようかなあ〜。(松本洋洋)



今月協賛して下さった方々(ラリル順)

- | | |
|--|--|
| 株式会社リクルート北海道じゃらん様
ろうきん様
渡邊克彦様
株式会社NTTドコモ北海道様
株式会社学生援護会北海道様
株式会社コスモメディア(女性情報誌poroco)様
札幌光星学園様
札幌通運労働組合様
佐藤水産株式会社様
寿郎社様
城宝和茂様
進藤芳彦様
生活クラブ生活協同組合様
高垣正計様
株式会社TAQANO様
株式会社土屋ホーム様
禎心会病院様
DoCoMoエンジニアリング北海道株式会社様
DoCoMoサービス北海道株式会社様 | ドコモモバイル北海道株式会社様
中道リース株式会社様
株式会社ニトリ様
幡本印刷株式会社様
藤山道子様
古野重幸様
ほくてんぼるねっと様
(北海道電力内ボランティアサークル)
北雄ラッキー株式会社様
株式会社ホクレン商事様
株式会社北海道アルバイト情報社様
北海道紙商事株式会社様
北海道技術士センター様
北海道振興株式会社様
北海道新聞社様
北海道ビジネスオートメーション株式会社様
本田技研工業株式会社北海道営業部様
真屋幹雄様
芽室町農協青年部様 |
|--|--|

協賛金について

一口500円より協賛金を受け付けています。
 ※月刊ボラナビの発行は、企業や個人の皆様からの協賛金でまかなっています。10,000円以上の協賛金をくださった場合は、お名前を誌面でご紹介しています。継続的な協賛にぜひ、ご協力ください。(政治団体・宗教団体などはお断りさせていただく場合があります。ご了承ください。)

情報・広告掲載料金(各1号につき)

広告掲載料金は、ボラナビ倶楽部への協賛の意味合いが強く、若干高めに設定させていただいています。ご負担をおかけしますがご協力をお願いします。

種類	大きさ(天地×左右)	価格
企業広告A	45mm×180mm	60,000円
企業広告B	45mm×87mm	30,000円
求人広告 (NPO・NGO団体で募集する有給スタッフの求人広告)	54mm×180mm	10,000円
ボランティア募集情報	大きさにかわらず	無料

※企業広告をご自身で制作された場合の価格です。ボラナビ倶楽部に制作を依頼される場合は、別途ご相談ください。
 ※誌面構成上、広告スペースは白地とし、スペース全体にベタ引き・アミ引きの使用はご遠慮ください。

広告掲載料金・協賛金の振込先

- 郵便局 / 02700-1-5671
 - 北洋銀行札幌駅北口支店 / (普) 0118625
 - 北海道銀行札幌駅北口支店 / (普) 0816050
 - 北海道労働金庫道庁支店 / (普) 3153060
- ※以上、加入者名はいずれも「ボラナビ倶楽部」。振込の際は、ご連絡先をボラナビにお伝えください。
- コンビニエンスストア
- ねっとほ金のサイトから申し込みいただくと、専用のコンビニ振込用紙をお送りします。
 ご利用ください。 <http://www.npohokkaido.jp/volunavi>

■ホームページURL
<http://www.npohokkaido.jp/volunavi>
 ■メールアドレス
volunavi@npohokkaido.jp

■発行/NPO法人 ボラナビ倶楽部
 〒060-0005
 札幌市中央区北5条西6丁目2 札幌ビル3F
 TEL 011-242-2042 FAX 011-242-2043

■発行日/2002年4月25日
 ■発行部数/25,000部
 ■代表/森田麻美子
 ■印刷/幡本印刷



この印刷物は環境にやさしい
 「大豆インキ」を使用しております。